

東日本大震災復興支援  
第70回国民体育大会  
バスケットボール競技会

2015 紀の国 **わがやま** 国体

第70回国民体育大会 躍動と歓喜、そして絆

平成27年 9月26日 ▶ 10月6日



成年男子1回戦

主審 田島 寛治

副審 山田 豊弘

新潟県 80

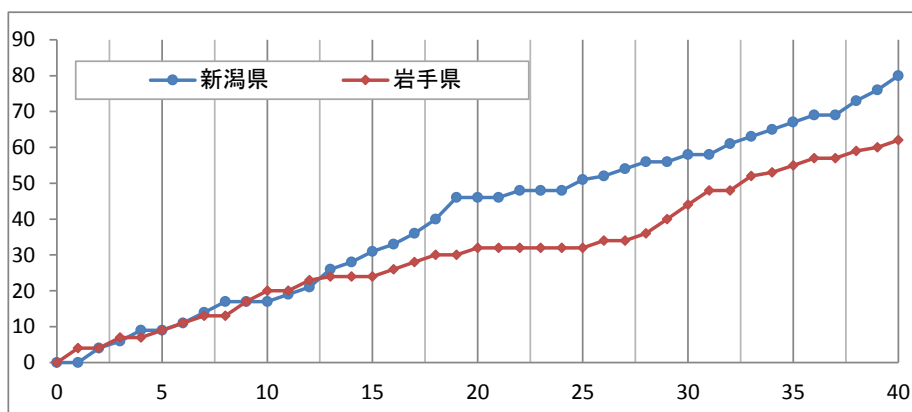


17	—	20
29	—	12
12	—	12
22	—	18
—	—	—

62 岩手県



No. 22F-1 日時：2015年9月22日(火) 10:00 会場：和歌山市立河南総合体育館Fコート



新潟県

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 岩下 大志 (C)	20	1	7	3	3	11	1
5	* 渋谷 祐佑	2	0	1	0	0	1	0
6	小沢 貴文	0	0	0	0	0	0	0
7	* 岩澤 裕也	5	0	2	1	2	9	0
8	* 坂上 聡	4	0	2	0	2	1	1
9	* 田中 憂希	19	6	0	1	1	3	1
10	山崎 将也	6	0	3	0	0	3	2
11	近藤 大	10	1	3	1	3	2	3
12	和田 直樹	12	2	2	2	1	4	2
13	木村 啓太郎	0	0	0	0	1	2	1
14	今村 佳太	2	0	1	0	1	1	1
15	齋藤 康高	0	0	0	0	1	2	0
コーチ 信田 英樹						0		
合計		80	10	21	8	15	39	12

岩手県

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 菊池 直貴 (C)	4	0	2	0	1	8	0
5	目時 渡	0	0	0	0	3	1	0
6	坂野 篤宏	0	0	0	0	2	3	1
7	佐々木 大輔	10	0	4	2	3	2	2
8	* 長谷川 武	15	0	6	3	4	11	1
9	菅原 敬太	5	1	1	0	0	2	2
10	中居 恭兵	0	0	0	0	0	0	0
11	* 柳澤 洸太	8	0	3	2	0	3	2
12	* 新井 靖明	9	1	3	0	1	1	0
13	* 山本 吉昭	3	1	0	0	1	1	5
14	高柴 聡太	8	0	4	0	3	6	1
15	小平 恵介	0	0	0	0	0	0	0
コーチ 大内 誠光						0		
合計		62	3	23	7	18	38	14

\*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…

戦評

1回戦、新潟県対岩手県。両チームともマンツーマンで始まる。お互いにディフェンスが堅く、なかなか点数に結びつかないが、新潟は#4、岩手は#7のシュートで点数を重ねていく。1ピリオド、17-20で岩手がリード。2ピリオド、新潟県が#11、#4の連続得点で逆転に成功するが、岩手県も#8を中心とした攻めで対抗する。しかし、新潟は#9の3Pでリズムをつかみ、46-32と新潟リードで前半終了。

3ピリオド、開始早々岩手県がゾーンディフェンスに変更し、新潟県の得点が止まる。岩手県も得点ができない時間帯が続くが、新潟#10、#8、岩手#11のシュートで両チーム得点する。4ピリオド、岩手は#12、#8のシュートで点差を縮めて追いつける。残り5分、岩手県はオールコートマンツーマンで新潟県にプレッシャーをかける。しかし、新潟県は#4を中心に落ち着いた攻めを見せる。残り2分、新潟県#12の連続得点により点差が開き、このまま試合が終了。80-62で新潟県の勝利。

両チームの堅いディフェンスと、新潟県のシュート力に見ごたえのあるゲームであった。

記者 堂本 郁也 (所属) 和歌山県バスケットボール協会

東日本大震災復興支援  
第70回国民体育大会  
バスケットボール競技会

2015 紀の国 **わがやま** 国体

第70回国民体育大会 躍動と歓喜、そして絆

平成27年 9月26日 ▶ 10月6日



成年男子1回戦

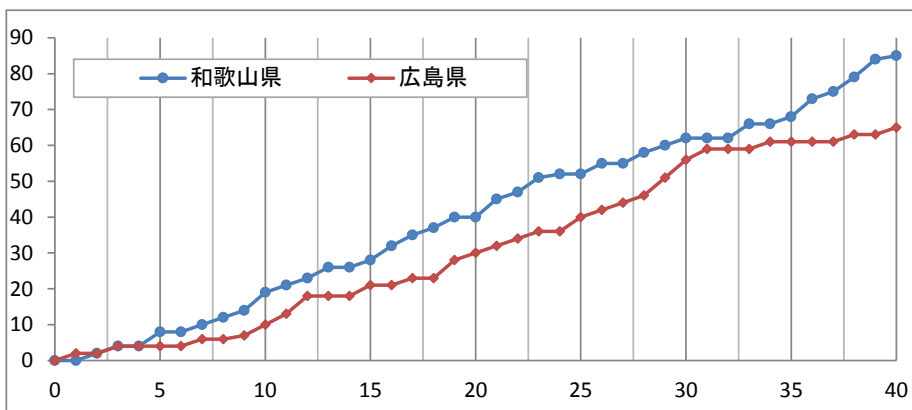
和歌山県 85 ○ 65 ● 広島県

主審 藤垣 庸二

副審 大倉 守正

19	—	10
21	—	20
22	—	26
23	—	9
—	—	—

No. 22F-2 日時：2015年9月22日(火) 11:45 会場：和歌山市立河南総合体育館Fコート



和歌山県

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 知念 恭平 (C)	8	0	4	0	3	8	8
5	劉 瑾	5	0	2	1	0	6	1
6	* 宮村 悠	6	0	1	4	3	5	0
7	* 中岡 佑太	10	0	4	2	1	8	0
8	久保田 和貴	0	0	0	0	1	0	1
9	高崎 雅之	15	0	6	3	1	5	0
10	宮崎 潤	8	2	1	0	0	0	1
11	* 井上 卓哉	14	4	1	0	0	4	3
12	川崎 達朗	3	1	0	0	0	3	1
13	高木 智也	0	0	0	0	0	0	0
14	三井 峻輔	1	0	0	1	0	0	0
15	* 寺下 太基	15	0	7	1	2	10	5
コーチ 垣内 信明						0		
合計		85	7	26	12	11	49	20

広島県

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	上岡 正直 (C)	2	0	1	0	0	1	1
5	* 北本 幹雄	2	0	1	0	3	2	1
6	廣本 純一	8	2	1	0	3	3	0
7	田坂 晋作	0	0	0	0	0	2	0
8	深谷 研介	2	0	1	0	0	2	0
9	松下 泰大	2	0	1	0	0	1	1
10	渡邊 太	8	1	2	1	3	4	1
11	大野 修平	2	0	1	0	1	1	0
12	* 河相 智志	16	1	6	1	1	4	1
13	* 今谷 祥吾	0	0	0	0	2	2	3
14	* 荒川 皓基	7	1	2	0	1	2	3
15	* ジョン ジョバンニ	16	1	6	1	3	9	1
コーチ 土橋 一美						0		
合計		65	6	22	3	17	33	12

\*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…

戦 評

1回戦、和歌山県対広島県。両チームともマンツーマンで始まる。広島県#5のドライブインから試合が動き始めるが、お互いシュートがなかなか決まらず、開始4分、和歌山県#5が入ってからリズムよく攻め、和歌山県が19-10と第1ピリオドをリードした。2ピリオド広島県#6、#12の3Pで21-18と3点差まで詰めよるが、和歌山県#5のポストプレイや和歌山県#15の速攻で37-23と点差を広げる。残り2分から広島県#14の3Pや速攻で追いつけたが、40-30和歌山県リードで前半を終える。  
後半は一転、両チームともシュートが決まり出したが、和歌山県の勢いが勝り、和歌山県#11の2本の3Pなどで、52-36とする。しかしここから広島県は#12の連続得点や#10の3Pで追いつける。和歌山県も#5の2Pで返すが、広島県#12がすかさず加点し、62-56で3ピリオドを終える。4ピリオド開始2分で広島県は62-59と3点差とし、緊迫したゲーム展開となった。しかし、和歌山県は#7のジャンプシュート、#4のドライブイン、#15のブロックショットからの速攻で、77-61と突き放した。その後も和歌山県#9の連続7得点で流れを広島県に渡さなかった。広島県の粘り強いプレイが光っていたが、地元和歌山県が大声援を受けて85-65と勝利し、準々決勝に進出した。

記者 流川英規 (所属) 和歌山県バスケットボール協会

東日本大震災復興支援  
第70回国民体育大会  
バスケットボール競技会

2015 紀の国 **わがやま** 国体

第70回国民体育大会 躍動と歓喜、そして絆

平成27年 9月26日 ▶ 10月6日



成年男子1回戦

秋田県

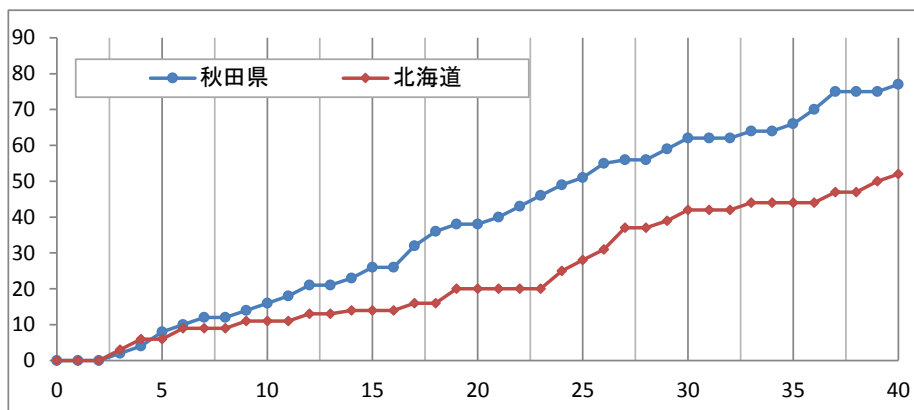
16	-	11
22	-	9
24	-	22
15	-	10
○		

52 北海道

主審 黒岡 和哲

副審 細田 知宏

No. 22F-3 日時：2015年9月22日(火) 13:30 会場：和歌山市立河南総合体育館Fコート



秋田県

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 石橋 拓 (C)	10	0	4	2	0	6	0
5	若月 徹	4	0	2	0	2	6	1
6	小野 大貴	11	2	1	3	2	7	2
7	* 畠山 純也	7	1	1	2	1	1	1
8	工藤 紘介	0	0	0	0	0	1	0
9	* 一戸 祐也	0	0	0	0	0	2	1
10	高橋 純	12	0	4	4	1	5	0
11	* 佐藤 光	15	1	6	0	2	3	3
12	* 根岸 城二	14	2	4	0	2	8	2
13	佐藤 哲朗	0	0	0	0	1	3	0
14	櫻庭 朋久	2	0	1	0	1	2	0
15	土屋 真人	2	0	1	0	3	4	3
コーチ 柿崎 智弥						0		
合計		77	6	24	11	15	48	13

北海道

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	田内 啓賢	-	-	-	-	-	-	-
5	* 下澤 義弘 (C)	7	1	2	0	1	3	0
6	* 高野 慶治	1	0	0	1	0	10	2
7	寿崎 雄介	0	0	0	0	0	5	1
8	向 淳希	9	3	0	0	3	4	0
9	* 鈴木 航	15	0	6	3	1	1	1
10	千代 雄亮	0	0	0	0	1	1	0
11	* 栃本 貴洋	9	1	2	2	4	6	0
12	西島 宏哉	0	0	0	0	2	0	0
13	亀谷 忠明	-	-	-	-	-	-	-
14	影谷 篤	6	0	3	0	0	3	2
15	* 大釜 賢治	5	0	1	3	4	2	3
コーチ 佐々木 明彦						0		
合計		52	5	14	9	16	35	9

\*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...

戦評

1回戦、秋田県対北海道。立ち上がりは両チームともマンツーマンでスタート。両チーム互いにディフェンスが強く、開始2分間両チーム得点が入らず。秋田県は#15や#11などのスティールから早い展開で得点を重ねる。一方、北海道は#11のミドルシュートなどから得点していくがミスも多く、1ピリオドは16-11で秋田県がリード。2ピリオド、開始から秋田県はメンバーを入れ替え、ゾーンディフェンスでスタートする。2ピリオドから入った秋田県#5、#10がリバウンドを徹底して取り、流れを引き寄せる。北海道がタイムアウトを取るも、直後に秋田県の#7、#6の連続3Pシュートで一気に差を広げられる。北海道は2回目のタイムアウトを取るも、勢いは止められず、38-20と秋田県がリードして前半終了。  
後半に入っても秋田県は前半の流れをそのままに、得点を重ねる。途中、秋田県#12が接触の際に脇腹を痛め交代。直後、ディフェンスをゾーンに切り替えると、北海道は#8の3本の3Pなどで追いつけるも、秋田県もすかさず#10、#11などが得点を入れ返し、62対42と差は縮められずに3ピリオドが終了。最終ピリオド、秋田県は流れを相手に渡すことなく、危なげなくゲームを進めた。最終的には25点差をつけて試合終了。秋田県の徹底したリバウンドが勝利を手繰り寄せたゲーム展開であった。

記事者 名古屋 智史 (所属) 和歌山県バスケットボール協会

東日本大震災復興支援  
第70回国民体育大会  
バスケットボール競技会

2015 紀の国 **わがやま** 国体

第70回国民体育大会 躍動と歓喜、そして絆

平成27年 9月26日 ▶ 10月6日



成年男子1回戦

主審 針生 淳男

副審 伊藤 亮介

大阪府 102

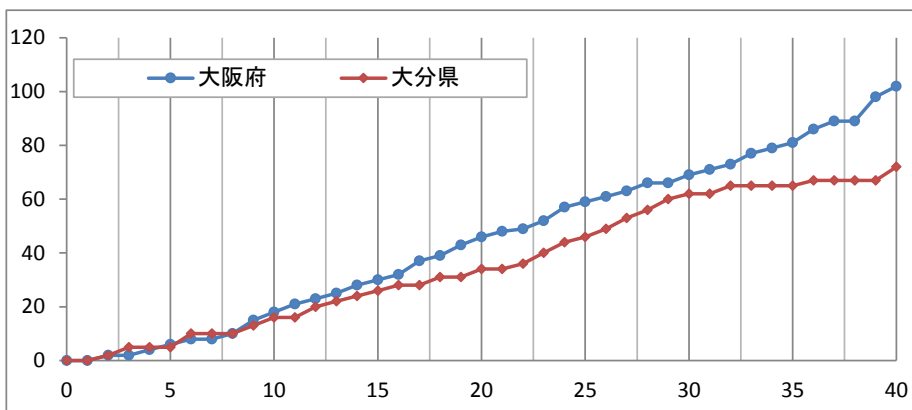


18	—	16
28	—	18
23	—	28
33	—	10
—	—	—

72 大分県



No. 22F-4 日時：2015年9月22日(火) 15:15 会場：和歌山市立河南総合体育館Fコート



大阪府

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 太田 和利 (C)	11	1	4	0	3	6	2
5	* 山田 崇文	5	0	2	1	0	1	3
6	奥田 翔	3	1	0	0	0	0	2
7	* 池原 慶紀	5	1	1	0	2	4	3
8	* 谷口 淳	2	0	1	0	4	3	3
9	鈴山 高範	10	2	2	0	0	5	2
10	石塚 裕也	9	0	4	1	2	3	3
11	小林 礼秧	17	3	4	0	0	1	1
12	森岡 裕大	8	0	4	0	0	0	0
13	合田 怜	10	2	2	0	1	5	4
14	* 池嶋 一輝	12	0	4	4	1	6	0
15	橋本 卓哉	10	1	3	1	0	2	0
コーチ 山岡 秀雄						0		
合計		102	11	31	7	13	36	23

大分県

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 大賀 啓史 (C)	21	0	8	5	3	4	3
5	藤田 浩司	-	-	-	-	-	-	-
6	* 森永 卓磨	19	5	2	0	2	5	1
7	竹本 崇一郎	4	0	2	0	2	3	1
8	平松 拓也	0	0	0	0	0	0	1
9	台良 裕則	2	0	1	0	0	1	0
10	甲斐 恒史	5	1	1	0	0	0	0
11	* 高井 大志	17	2	5	1	0	6	1
12	* 三浦 友裕	2	0	0	2	4	7	2
13	小手川 大志	0	0	0	0	0	0	0
14	山村 彰	0	0	0	0	0	0	0
15	* 高山 竜之介	2	0	1	0	2	9	6
コーチ 富所 武司						0		
合計		72	8	20	8	13	35	15

\*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

戦 評

1回戦、大阪府対大分県。大阪府はマンツーマン、対する大分県はゾーンプレスで果敢にスティールを狙う。序盤はなかなか点が入らない時間が続いたが、両チーム#4のシュートをきっかけに点を取り合い、18-16大阪府リードで1ピリオドを終える。2ピリオド、大阪府はアウトサイドシュート、大分県はドライブインから点を重ねる。残り5分、大阪府#15のシュートが連続で決まり大阪府のリードが9点に広がる。その後大分県のターンオーバーが続き、46-34と大阪府がリードを広げて前半終了。

後半に入って再び大分県がゾーンプレスを仕掛ける。オフェンスでは大分県#4、#15のドライブインを中心とした攻めを展開。大阪府も#11、#6のシュートにより対抗するが点差が縮まり69-62大阪府7点リードで3ピリオドが終了。4ピリオド、大阪府#14の速攻からの連続得点で勢いに乗ると、大分県のミスも重なりリードをまた広げる。終盤、大分県は3Pで反撃するが追いつけられず、102-72で大阪府の勝利で試合を終える。大阪府のリバウンドの強さとシュートの確率の良さが勝負を決めた試合だった。

© 2015 Yuzo Kosaka All Rights Reserved. Vol. 007a 堂本 郁也 (所属) 和歌山県バスケットボール協会